

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」  
教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】

○主体的に学習に取り組む態度を評価するための授業改善を行い、意欲・関心の向上を図り、協働的な学びを通して「思考・判断・表現」力を育む。

【現状と課題】

○視点1:学年相応の語彙力や読み取る力が弱い。筋道立てて考えをまとめることが苦手で、関数や図形領域や観察・実験を通して、協働的な学びにより、思考力・表現力が養われる授業づくりが必要である。  
○視点2:自己肯定感が低い生徒が多い。体験的活動や問題解決型学習を取り入れ、自己達成感を高める必要がある。  
○視点3:家庭学習の未定着率33%や未読率の高さ(35%)などが課題である。家庭学習環境を整えていかなければならない。

取組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <p>○教師の説明時間を短くし、生徒の思考活動の時間を十分に取入れた授業を構築する。 ○各教科で、「深い学び」につながる「問い」を探究する。 ○表現力や書く力の定着を図る授業づくりを推進する。</p>	<p>【取組事項】</p> <p>○総合的な学習の時間に「問い～仮説～調査・体験～報告～振り返り～新たな問い」の流れによるキャリア教育を推進する。 ○体験活動をもとにしたプレゼンテーションやグループ討議を実施し、言語活動を充実させてコミュニケーション力を高める。</p>	<p>【取組事項】</p> <p>○教科の縦持ち、少人数指導、チームティーチング、単元別担当制など、「わかる授業」づくりを構築するためのG-OJTを推進する。 ○「朝の読書」「校内ビブリオバトル」や学校司書と連携した授業を実施する。 ○長期休業中の学年や学級および部活動単位での補充学習を実施する。</p>
その他 取組事項		

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目	2回目
			評価	評価
全体				
視点1	○教師の説明時間を短くし、生徒の思考活動の時間を十分に取入れた授業を構築する。 ○各教科で、「深い学び」につながる「問い」を探究する。 ○表現力や書く力の定着を図る授業づくりを推進する。	○学習に関するアンケートの「学校の授業はわかりやすい」の肯定率が80%以上 ○学習に関するアンケートの「自分で課題を決めて調べたり発表したりする授業が好き」の肯定率が80%以上 ○学習に関するアンケートの「考えたことを文字や言葉で表現することが好き」の肯定率が70%以上	B	
視点2	○総合的な学習の時間に「問い～仮説～調査・体験～報告～振り返り～新たな問い」の流れによるキャリア教育を推進する。 ○体験活動をもとにしたプレゼンテーションやグループ討議を実施し、言語活動を充実させてコミュニケーション力を高める。	○学習に関するアンケートの「考えたことを文字や言葉で表現することが好き」の肯定率が65%以上 ○学習に関するアンケートの「先生や友だちの発表を最後まできちんと聞く」の肯定率が80%以上	B	
視点3	○「朝の読書」「校内ビブリオバトル」や学校司書と連携した授業を実施する。 ○長期休業中の学年や学級および部活動単位での補充学習を実施する。	○学習に関するアンケートの「平日の家庭学習時間(塾や家庭教師を含む)」で30分以内の回答率が20%以下 ○学習に関するアンケートの「1か月におおよそ何冊くらいの本を読みますか」の不読率が20%以下	B	
その他				

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--